目次

はしがき i
略語表 vii

序章 2001年の東アジア

1 20世紀の幕開けと米国同時多発テロ
2 ブッシュ政権の登場と中日戦略的パートナーシップ
3 求められるガバナンスの向上と地域協力の進展

第1部 トピックス

第1章 米国同時多発テロ事件と東アジアの安全保障

1 米国の対応
2 北東アジア諸国対応
   - 1 中国
   - 2 ロシア
   - 3 韓国
   - 4 北朝鮮
   - 5 日本
3 東南アジア諸国の反応
   - 1 東南アジアのイスラムとテロ組織
   - 2 フィリピン
   - 3 インドネシア
   - 4 マレーシア
   - 5 その他の東南アジア諸国
4 米国同時多発テロと東アジアの国際協力
5 米国同時多発テロ事件と東アジアの安全保障
補論：同時多発テロの経済面での影響と課題
第２章 変化する東南アジアの脅威
——ガバナンスの強化が課題
1 経済情勢とガバナンス
2 相次ぐ政権交代
3 政治変動の背景 —— 20年憲法下での初の総選挙
4 フィリピン——ビーバル・パワー
5 インドネシア——民主主義への模索
6 格差は正の焦点 —— 外相会合
7 予防外交に進展 —— 地域フォーラム
8 非伝統的脅威への対応

第３章 インドの核政策
——アジアの戦略環境に及ぼす影響
1 インドの戦略環境認識
2 インドの核ドクトリン
3 核ドクトリンの適用上の課題
4 東アジアにおけるインドの戦略的役割

第２部 各国・地域の情勢

第４章 朝鮮半島
1 金刚山の落日 —— 南北朝鮮関係
2 大統領の孤独 —— 韓国
3 「レームダック」の波にあらがって
第5章 中国  
1 社会変革に真面する江沢民体制  
   ① 党の威信回復を目指して  
   ② 成長を続ける中国経済  
2 経済重視に動く中国外交  
   ① 对米関係 —— 軍用機衝突事故から対テロ協調へ  
   ② 真価を問われる中国とのパートナーシップ  
   ③ 安定維持を求める南北朝鮮との関係  
   ④ 歴史問題で政治的圧力を加えた対日関係  
   ⑤ 経済を軸に接近を強める対関係  
3 着実に進展する軍の近代化  
   ① 一層強調された伝統的な軍戦関係  
   ② 「科技強軍」、「科技練兵」の継続  
   ③ 終結を追求の改革  
   ④ 練兵の大規模演習「解放1号」の実施  
   ⑤ 活発化する軍事交流と海軍船の外国訪問  
   ⑥ 武器装備の近代化と「陸軍地対地弾道ミサイル旅団」の編成  
   ⑦ 継続する日本近海における中国海軍船の活動  
4 中台関係と台湾の動向  
   ① 対話再開への模索続く中国との関係  
   ② 進む中国との経済交流  
   ③ 「陳水扁・李登輝連立政権」の出現  
   ④ 安全保障環境の大幅な改善  
   ⑤ ソフト面強化を目指す台湾軍  

第6章 ロシア  
1 安定化するブーチン大統領の政権基盤  
2 外交の2つの目標 —— 実利主義と戦略的安定の追求
第7章 米国の東アジア安全保障政策

1 ブッシュ政権と一国主義

2 クリントンからブッシュへ——一国主義への傾斜

3 一国主義の波紋——朝鮮半島、中東、ユーラシア

4 一国主義と「一方的な」国際協調

2 攻撃・防御バランス論——軍備管理とアジア

1 構想と対話条約離脱

2 「本土防衛」と不拡散政策

3 東アジア諸国への対応

3 中国は「競争者」か「パートナー」か？

1 海南島での軍用機接触事件

2 台湾問題

3 世界レベルの対立関係

4 中国の加盟

4 安全保障政策の見直し

1 見直しの萌芽

2 国防戦略の「青写真」としての

3 情報組織と宇宙政策

5 テロ問題と米国の東アジア安全保障政策

1 「日本重視」と同時多発テロ事件

2 「ハブ・アンド・スポーク」関係の強化

6 同時多発テロと米国のその後
第8章 日本の防衛政策

---米国同時多発テロをめぐる防衛政策論議と国際協力---

1 テロ対策特別措置法——その概要など
2 テロ対策特別措置法の概要
3 テロ特措法と国会論議——その論点
4 期待される防衛政策論議の活性化

2 基本計画と自衛隊の活動
1 基本計画の概要
2 自衛隊の活動

3 国際平和協力法の見直し
1 国連への賛成拡大と限界
2 国際平和協力法の見直し——その動きと課題

補論：有事法制

コラム

国防大学校長等会議
米国における同時多発テロへの対応に関するわが国の措置
国家安全保障システムの改革報告書
第3次印パ戦争と米空母のベンガル湾派遣
上海ファイブ・プロセスと日本の発足
人民解放軍の部隊番号の更新
本土防衛
參加5原則
本体業務
年月の不審船事件